

5年生

着衣水泳



7月20日（金）

5、6校時に1学期最後の水泳学習で着衣水泳を行いました。

川や海で遊ぶ機会が増える夏休みを前に、着衣状態で水に入ることによって対処方法を身に付けたり、浮き方、泳ぎ方を体験したりしました。

入水時は、足から入るのではなく後ろ向きで水に落ちることで、服を着た状態での動きにくさ、対応の仕方などを体験しました。また、実際に泳いでみると衣服が水分を吸うため「重い。」「動きにくい。」という感想も子どもたちから聞かれました。

着衣状態での浮き方では、ペットボトルが有効な手段であることを学びました。ビート板代わりになることを知り、実際に浮いてみたり、陸からの救助方法の一つになり得たりすることを学習しました。

最後に、水の中で靴や衣服を脱ぎました。衣服着用時との重さの違いを体感し、「軽い。」「靴を脱ぐだけでも全然違う。」と子どもたちは、たくさんのことを学ぶことができました。今回学習したことを忘れずに、安全に水遊びを楽しんでもらいたいと思います。